

日本の株式市場

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

市場の動向

日本株式市場の代表的な指数である東証株価指数 (TOPIX) は、12日比で1.38%上昇しました。
日本株式市場は、週前半は16-17日開催のFOMC(米連邦公開市場委員会)を前に模様眺めの雰囲気も強く、積極的な売買は手控えられました。しかし、政策金利予測を引き上げた米国と異次元緩和を続ける日本の金融政策の違いを材料に円安ドル高が加速したことなどから、輸出関連銘柄を中心に幅広い銘柄が買われ、週間では上昇しました。

今後発表予定の主な経済指標など

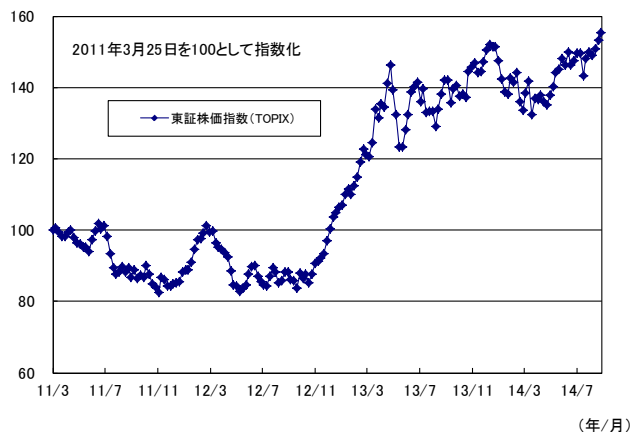
- 26日発表 全国CPI(消費者物価指数、8月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊
騰落率がマイナスの場合: ☹️
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
1.38%	😊

<期間> 2011年3月25日～2014年9月19日



東証株価指数 (TOPIX)	2014/9/12	2014/9/19	騰落率
	1,313.72	1,331.91	1.38%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

東証株価指数 (TOPIX) の指数値及び TOPIX の商標は、株式会社東京証券取引所 (以下「東証」といいます。) の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用など TOPIX に関するすべての権利及び TOPIX の商標に関するすべての権利は東証が有します。

世界の株式市場

市場の動向

海外株式市場全体の動きを表す代表的な指数である MSCI-KOKUSAI 指数は、12日比円ベースで、2.22% 上昇しました。外国為替市場における円安進行も上昇要因となりました。

米国株式市場 (現地通貨ベース) では、FOMC 声明において、インフレ率が低水準で推移していることが指摘され、資産買い入れプログラム終了後も「相当な期間」低金利を継続するとの文言が残されました。米国における金融引き締めへの懸念がやや後退したことなどを好感し、上昇しました。

欧州株式市場 (現地通貨ベース) は、欧州の大手企業の買収計画が報じられたことや、スコットランド分離独立が住民投票で否決されたことなどを好感し、上昇しました。

アジア (日本を除く) オセアニア株式市場 (現地通貨ベース) は、ドル高に伴う商品市況の軟調な推移などを背景に下落しました。

今後発表予定の主な経済指標など

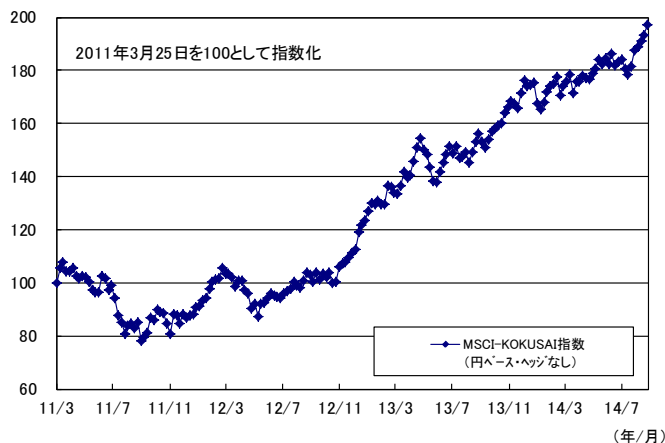
- 23日発表 ユーロ圏製造業・サービス業PMI(購買担当者景気指数、9月)
- 24日発表 米新築住宅販売件数(8月)
- 25日発表 米耐久財受注(8月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊
騰落率がマイナスの場合: ☹️
騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率	先週の相場動向
2.22%	😊

<期間> 2011年3月25日～2014年9月19日



MSCI-KOKUSAI 指数 (円ベース・ヘッジなし)	2014/9/12	2014/9/19	騰落率
	2,264.45	2,314.71	2.22%
円/ドル	107.37円	108.99円	1.51%
円/ユーロ	138.91円	139.94円	0.74%

<指数出所> FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
<為替出所> 当該日ロンドン時間16時発表のWMOロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

MSCI-KOKUSAI 指数は、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。

日本の債券市場

市場の動向

日本の債券市場動向を表す代表的な指標である NOMURA-BPI総合は、12日比で0.07%上昇しました。
日本債券市場は、円安進展を背景とする業績改善期待の高まりや、17日の20年国債入札を控えて機関投資家が様子見姿勢を強めたことなどを理由に、下落して始めました。その後、FOMCにおいて将来の政策金利見通しが引き上げられ円安が一段と進んだものの、20年国債入札の順調な結果や、日銀の国債買い入れオペを背景とする好需給などを受けて、上昇に転じました。週間では上昇しました。
長期金利の指標となる10年国債利回りは、12日比で低下(価格は上昇)し、0.56%となりました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 26日発表 全国CPI(8月)

など

	2014/9/12	2014/9/19	変化幅
日本10年国債利回り*	0.58%	0.56%	-0.01%

※ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

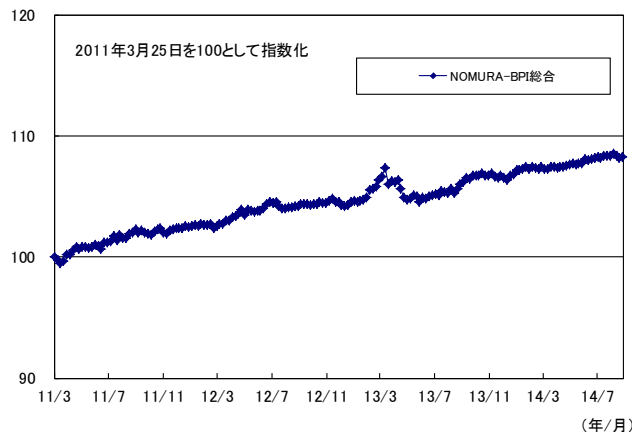
先週の騰落率

0.07%

先週の相場動向



<期間>2011年3月25日～2014年9月19日



NOMURA-BPI総合	2014/9/12	2014/9/19	騰落率
	355.89	356.13	0.07%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

NOMURA-BPI総合は、野村証券株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他の権利は野村証券株式会社に帰属しております。また、野村証券株式会社が、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

世界の債券市場

市場の動向

世界債券市場の動きを示す代表的指数であるシティ世界国債インデックスは、12日比円ベースで、1.46%上昇しました。

米国債券市場(現地通貨ベース)は、8月の米鉱工業生産が市場予想を下回ったことなどを背景として、債券利回りは低下(価格は上昇)しました。

欧州債券市場(現地通貨ベース)では、9月の独ZEW景況感指数が前月より低下したことや、米国債券市場で利回りが低下したことなどを背景として、ドイツ国債利回りは低下しました。

為替は、12日比で円/ドルレートは円安・ドル高、円/ユーロレートは円安・ユーロ高となりました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 23日発表 ユーロ圏製造業・サービス業PMI速報(9月)
- 23-25日実施 米国債入札
- 24日発表 独IFO景況感指数(9月)
- 24日発表 米新築住宅販売(8月)
- 25日発表 米耐久財受注(8月)
- 26日発表 米GDP(国内総生産、4-6月期、確報値)

など

	2014/9/12	2014/9/19	変化幅
米国10年国債利回り*	2.61%	2.57%	-0.04%
ドイツ10年国債利回り*	1.08%	1.04%	-0.04%

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

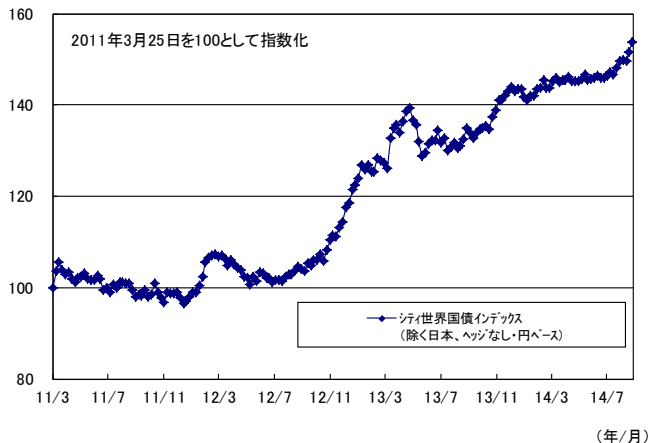
先週の騰落率

1.46%

先週の相場動向



<期間>2011年3月25日～2014年9月19日



シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	2014/9/12	2014/9/19	騰落率
	431.61	437.89	1.46%
円/ドル	107.37円	108.99円	1.51%
円/ユーロ	138.91円	139.94円	0.74%

<指数出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
<為替出所>当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Global Markets Inc.の知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関する全ての権利は、Citigroup Global Markets Inc.が有しています。

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

※ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

・下記で使用したデータは過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・市場の休場等の場合は前日の値を使用します。 ・REITとは、不動産投資信託証券を指します。

J-REIT市場

市場の動向

J-REIT市場(東証REIT指数(配当込み))は、12日比で0.13%上昇しました。国内株式市場が上昇したことなどが背景にあります。

不動産経済研究所が発表した8月の首都圏のマンション市場動向によると、新規発売戸数は2,110戸と、前年同月比49.1%減となりました。また、発売戸数のうち実際に売買契約できた割合は69.6%と、前年同月比11.9ポイント低下しました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 26日発表 全国CPI(8月)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

先週の騰落率

0.13%

先週の相場動向



<期間>2011年3月25日~2014年9月19日



東証REIT指数(配当込み)	2014/9/12	2014/9/19	騰落率
	2,794.98	2,798.75	0.13%

<出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

東証REIT指数の指数値及び東証REIT指数の商標は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます。)の知的財産であり、東証REIT指数の算出、指数値の公表、利用など東証REIT指数に関するすべての権利及び東証REIT指数の商標に関するすべての権利は東証が有します。

世界のREIT市場

市場の動向

世界REIT市場(S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み))は、12日比円ベースで、0.67%上昇しました。

米国REIT市場(現地通貨ベース)は、政策金利の見通しが引き上げられたことから、利上げに対する警戒感が広がったことや、8月の米住宅着工件数が市場予想以上に減少したことなどから、下落しました。

欧州REIT市場(現地通貨ベース)は、引き続き、米国の利上げ観測やスコットランドの独立問題などが嫌気され下落しました。

豪州REIT市場(現地通貨ベース)は、豪株式市場の下落に連れて下落しました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 23日発表 ユーロ圏製造業・サービス業PMI速報(9月)
- 24日発表 独Ifo景況感指数(9月)
- 24日発表 米新築住宅販売(8月)
- 25日発表 米耐久財受注(8月)
- 26日発表 米GDP(4-6月期、確報値)

など

騰落率がプラスの場合: 😊

騰落率がマイナスの場合: 😞

騰落率が横ばいの場合: 😐

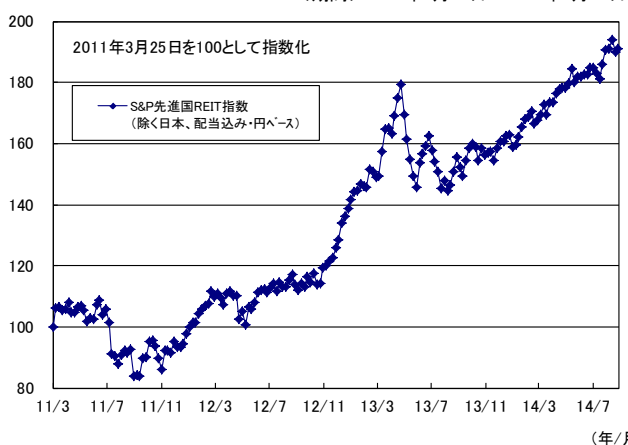
先週の騰落率

0.67%

先週の相場動向



<期間>2011年3月25日~2014年9月19日



S&P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み・円ベース)	2014/9/12	2014/9/19	騰落率
	742.16	747.10	0.67%
円/ドル	107.37円	108.99円	1.51%
円/ユーロ	138.91円	139.94円	0.74%

<指数出所>ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成
 <為替出所>当該日ロンドン時間16時発表のWMロイターの為替レートを基に野村アセットマネジメント作成

S&P先進国REIT指数はスタンダード&プアーズファイナンシャルサービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。

新興国の株式市場

市場の動向

新興国株式市場全体の動きを表す代表的な指数であるMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、12日比円ベースで、0.84%上昇しました。

中国株式市場(現地通貨ベース)は、8月の対中直接投資が市場予想を下回ったことや、IPO(新規株式公開)に伴う需給悪化が懸念されたことなどから下落しました。

ロシア株式市場(現地通貨ベース)は、8月の鉱工業生産が市場予想を下回ったことや、欧米諸国による追加経済制裁の影響が懸念されたことなどから下落しました。

ブラジル株式市場(現地通貨ベース)は、10月の大統領選挙に向けた世論調査で野党候補の支持率が高まり、経済政策変更の期待が高まったことなどから上昇しました。

南アフリカ株式市場(現地通貨ベース)は、7月の小売売上高が市場予想を上回ったことや、政策金利が据え置かれたことなどが好感されて上昇しました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 23日発表 中国HSBC製造業PMI(購買担当者景気指数、9月)
- 24日発表 ブラジル経常収支(8月) など

騰落率がプラスの場合: 😊

先週の騰落率

先週の相場動向

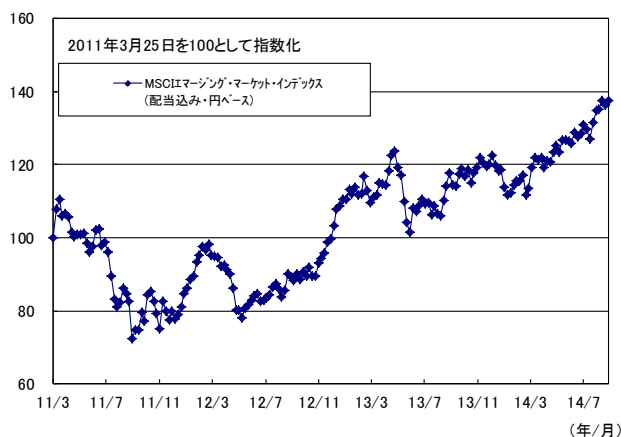
騰落率がマイナスの場合: 😞

0.84%



騰落率が横ばいの場合: 😐

<期間> 2011年3月25日～2014年9月19日



MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円ベース)	2014/9/12	2014/9/19	騰落率
	1,875.15	1,890.88	0.84%

<出所> FactSetからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

新興国の債券市場

市場の動向

新興国債券市場全体の動きを示す代表的な指数であるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドは、12日比円ベースで、1.27%上昇しました。

ポーランドでは、9月3日開催の金融政策決定会合の議事録において、メンバーの過半が早期利下げの必要性について同意したことが示され、次回会合での利下げ期待が高まりました。このような投資環境の中、同国の債券指数は上昇しました。

南アフリカでは、8月のCPIとコアCPIが市場予想に反して前月の伸びを上回りました。また、金融政策決定会合において政策金利が据え置かれました。南アフリカ準備銀行(中央銀行)総裁は、決定が全会一致ではなく、1名が25bpの利上げを主張したことを明らかにしました。このような投資環境の中、同国の債券指数は上昇しました。

今後発表予定の主な経済指標など

- 23日発表 中国HSBC製造業PMI(9月)
- 25日発表 トルコ金融政策
- 24日発表 タイ貿易収支(8月)
- 26日発表 メキシコ貿易収支(8月) など

騰落率がプラスの場合: 😊

先週の騰落率

先週の相場動向

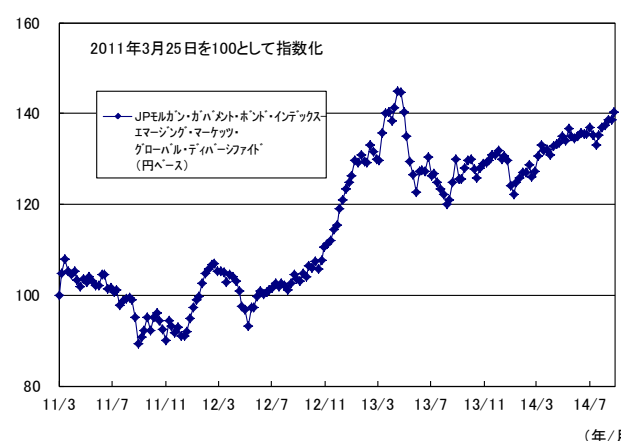
騰落率がマイナスの場合: 😞

1.27%



騰落率が横ばいの場合: 😐

<期間> 2011年3月25日～2014年9月19日



JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)	2014/9/12	2014/9/19	騰落率
	269.76	273.20	1.27%

<出所> ブルームバーグからのデータを基に野村アセットマネジメント作成

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(JP Morgan Government Bond Index-Emerging Markets Global Diversified)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

2014年9月現在

<p>ご購入時手数料 《上限4.32%(税込み)》</p>	<p>投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。</p>
<p>運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816%(税込み)》</p>	<p>投資家はその投資信託を保有する期間に応じたかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。</p>
<p>信託財産留保額 《上限0.5%》</p>	<p>投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。</p>
<p>その他の費用</p>	<p>上記の他に、「組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

商号:野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。